

第2回実行委員会開催

つながれ、いのち...

第3回実行委員会

日時 8月3日(日) 14時~17時

場所 山口県教育会館5F第3会議室
(山口市大手町2-18)

内容 学習「女の先生 なめんなよ！」
中村幸恵(宇部市立岬小学校)

協議・全体会、分科会の再検討

- ・集会準備
- ・その他

6月22日(日)に山口県教育会館で「開かれた学校づくり全国交流集会inやまぐち」第2回実行委員会を開きました。

県内各地から16名の参加がありました。

今回は北村陽子さん(NPO法人光けんじのがっこう)に『つながれ、いのちく地域・親へひらく教育の実践』と題して今年で10

メディアの清けか
危ない

自然の中で育つ 光けんじのがっこう

年目を迎えた「光けんじのがっこう」のとりくみを報告していただきました。宮沢賢治の「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はありえない」を基本理念にしている。ことがその名前の由来で、メディアが子どもをむしばんでいるいまの社会状況がきっかけで、これを教育の力で変えていこうということから始まりました。

具体的には幼児から小学生を対象に地域の自然や文化行事にふれさせ、その観察や体験を通して調和のとれた人格の形成をめざしておられます。

子どもの頃の体験が重要だが、最近では自然に親しむ機会が少なくなってきた。テレビゲームに子守された子どもは大学生になってもテレビゲームから解放されないという実態やメディアの問題は日本の文化水準とも深く関わっているという感想も出されました。また、多忙化にさらされている教員の現状や保護者から学校に話したいことがいっぱい

あるがそのような機会をいかにつくればよいかという開かれた学校を期待する意見も出されました。

構成を検討

実行委員会では全体会、分科会の構成を中心に議論しました。

全体会のミニ講演は「山口県高校生交流集会」について高校生も一緒に話してもらい、シンポジウムは香川県の高校と山口県の親の会の実践を話してもらうことにしました。分科会は、三つに分かれ課題別で設定し、レポートの割り当てを決めました。また、参加呼びかけの団体等も検討しました。

その後、分科会等に関して課題も生まれましたので、検討する必要がありますが生まれてきましたので次回の実行委員会でチラシを含めて再提案したいと思えます。

